

# 福岡水素エネルギー人材育成センター 第4回「高度人材育成コース」開催案内

主催：福岡水素エネルギー人材育成センター(福岡水素エネルギー戦略会議)  
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)  
国立大学法人 九州大学 水素エネルギー国際研究センター  
独立行政法人 産業技術総合研究所 水素材料先端科学研究センター(HYDROGENIUS)

後援：水素エネルギー協会(HESS)(手続き中)  
燃料電池開発情報センター(FCDIC)  
(公財)水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)

## 1. 高度人材育成コースの概要

### 1-1. 目的

燃料電池産業や水素エネルギー研究の最新情報を、サマースクール形式により幅広く講義することにより、将来を担う若手研究者の育成を目指します。

### 1-2. 対象

大学生・大学院生、若手研究者等(原則 35 才未満)

### 1-3. 特徴

- ① 世界で活躍する研究者、企業の最前線で活躍する技術者が、最新動向を分かりやすく講義します。
- ② 全国の若手研究者とのネットワークを構築できます。  
1日目には、全員参加の「参加者交流会」も開催します。
- ③ 受講費用は無料です。  
※社会人のみ交流会費として 2,000 円徴収します。

## 2. 高度人材育成コースの詳細

### 2-1. 開催日程

平成23年8月24日(水) ~ 8月26日(金)

※3日間全ての講義に参加をお願いします。(一部講義のみの参加は不可)

### 2-2. 会場

【1日目、2日目】 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館 1階 稲盛ホール  
(福岡市西区元岡744番地)

【アクセス案内】 <http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html>

地下鉄「福岡空港」「博多」→(地下鉄・JR 筑肥線)→

「九大学研都市」→(昭和バス)→「九大工学部前」下車

※ 地下鉄「博多駅」「天神駅」から、「筑前前原」「唐津」「西唐津」行き電車をご利用ください。九大学研都市駅まで直通で運転されます。

【3日目】 水素エネルギー製品研究試験センター 2階セミナー室  
(糸島市富915番地-1)

【アクセス案内】 <http://www.hytrek.jp/access.html>

地下鉄「福岡空港」「博多」→(地下鉄・JR 筑肥線)→「筑前前原駅」

→ タクシー(10分)

※ 地下鉄「博多駅」「天神駅」から、「筑前前原」「唐津」「西唐津」行き電車をご利用ください。筑前前原駅まで直通で運転されます。

### 2-3. 対象

大学生・大学院生, 若手研究者等(原則 35 才未満)

### 2-4. 定員

40名(定員に達し次第、募集を締め切ります。)

### 2-5. 受講料

無料

※ ただし、交通費・宿泊費は、受講者負担です。

※ 社会人(大学生・大学院生以外)は、当日受付にて交流会費2,000円をお支払いください。領収証をお渡します。

## 2-6. カリキュラム

4ページに記載のとおり

## 2-7. アンケート調査

次年度以降の参考とするため、アンケート調査を実施させていただきます。

## 2-8. 交流会

初日の講義終了後に、参加者交流会を開催します。

必ずご参加ください。

※ 大学生・大学院生は無料。その他社会人等は2,000円/人をご負担ください。

## 2-9. 受講申込み方法

福岡水素エネルギー戦略会議ホームページから、お申し込みください。

【受講申込み先】 [http://www.f-suiso.jp/4th\\_kouodo.html](http://www.f-suiso.jp/4th_kouodo.html)

## 2-10. 申込締切

平成23年 8月17日(水) ※定員に達し次第、申込を締め切ります。

## 2-11. その他(注意事項)

- ① 受付は申込み順とし、定員になり次第、募集を締め切ります。
- ② 当コースにお申し込みいただく場合は、次の誓約内容に同意頂いたものとみなしますので、あらかじめご了承ください。

〔誓約内容〕

当コースで開講される講座において、次の行為を行わないこと。

また、故意にこれに違反する行為を行った場合、生じた損害の賠償責任を負うこと。

○機器の損壊

○コース運営に支障をきたす行為 等

## 2-12. 問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、遠慮なく、福岡水素エネルギー戦略会議事務局にお問い合わせください。

【連絡先】 福岡水素エネルギー戦略会議事務局 担当: 秋田, 山口

(福岡県商工部新産業・技術振興課内)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

TEL: 092-643-3448

電子メール: [info@f-suiso.jp](mailto:info@f-suiso.jp)

### 3. カリキュラム

## 福岡水素エネルギー人材育成センター 第4回 高度人材育成コース カリキュラム

8月24日(水) 会場：九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館 1階 ホールC 福岡市西区元岡

|             | 時間          |     | 講義名                        | 講師名                                    |
|-------------|-------------|-----|----------------------------|----------------------------------------|
| 1<br>日<br>目 | 12:50~13:00 | 10分 | 開講式                        | 福岡水素エネルギー戦略会議                          |
|             | 13:00~14:00 | 60分 | 我が国における燃料電池実用化戦略           | 新エネルギー・産業技術総合開発機構                      |
|             | 14:10~14:40 | 30分 | 福岡水素戦略<br>(Hy-Life プロジェクト) | 福岡水素エネルギー戦略会議                          |
|             | 14:50~15:50 | 60分 | 水素材料強度特性研究の最前線             | HYDROGENIUS(※)研究チーム長<br>九州大学大学院 松岡三郎教授 |
|             | 16:00~17:00 | 60分 | 水素物性研究の最前線                 | HYDROGENIUS(※)研究チーム長<br>九州大学大学院 高田保之教授 |
|             | 17:10~18:10 | 60分 | 校長講話                       | 渡邊浩之 校長<br>(トヨタ自動車(株)技監)               |
|             | 18:20~19:30 | 70分 | 参加者交流会                     |                                        |

8月25日(木) 会場：九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館 1階 ホールC (福岡市西区元岡)

|             | 時間          |            | 講義名                                | 講師名                                                       |
|-------------|-------------|------------|------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 2<br>日<br>目 | 9:20~10:20  | 60分        | 水素高分子材料研究の最前線                      | HYDROGENIUS(※)研究チーム長<br>九州大学大学院 西村伸教授                     |
|             | 10:30~11:30 | 60分        | 水素トライボロジー研究の最前線                    | HYDROGENIUS(※)研究チーム長<br>九州大学大学院 杉村丈一教授                    |
|             | 11:30~12:30 | (60分)      | 昼休み                                |                                                           |
|             | 12:30~13:30 | 60分        | 水素貯蔵材料研究の最前線                       | 九州大学工学研究院 秋葉悦男 教授                                         |
|             | 13:40~14:20 | 40分        | 海外における水素研究の現状<br><br>* 英語による講義     | カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所<br>邵 宇 助教                           |
|             |             |            |                                    | カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所<br>燃料電池研究部門 Lyth Stephen Matthew 助教 |
|             | 14:20~16:00 | 100分       | 施設見学                               |                                                           |
| 16:10~17:10 | 60分         | 燃料電池研究の最前線 | 九州大学 水素エネルギー<br>国際研究センター長 佐々木一成 教授 |                                                           |

8月26日(金) 会場：水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC) 2階セミナー室 (糸島市富)

|             | 時間          |       | 講義名              | 講師名                                                                                |
|-------------|-------------|-------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 3<br>日<br>目 | 9:20~10:10  | 50分   | 水素ステーションの現状と課題   | 水素供給・利用技術研究組合(HySUT)<br>企画部 町田 智英 氏                                                |
|             | 10:20~11:10 | 50分   | 液体水素の現状と課題       | 岩谷産業(株) 産業ガス・溶材本部<br>ガス技術部 新井 祐介 氏                                                 |
|             | 11:20~12:10 | 50分   | 燃料電池自動車の現状と課題    | 日産自動車(株) 総合研究所<br>EVシステム研究所 主任研究員 酒井 弘正 氏                                          |
|             | 12:10~13:10 | (60分) | 昼休み              |                                                                                    |
|             | 13:10~14:00 | 50分   | 家庭用燃料電池の現状と課題    | パナソニック(株) 暮らし環境開発センター<br>FC事業開発室 麻生 智倫 氏                                           |
|             | 14:10~15:00 | 50分   | 固体酸化物形燃料電池の現状と課題 | JX 日鉱日石エネルギー(株)<br>新エネルギーシステム事業本部<br>システムインテグレート推進事業部<br>FC開発グループ 担当マネージャー 山崎 典宗 氏 |
|             | 15:10~15:50 | 40分   | 施設見学(HyTReC)     | 水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)                                                          |
|             | 15:50~16:00 | 10分   | 閉講式              | 福岡水素エネルギー戦略会議                                                                      |

※ HYDROGENIUS: (独)産業技術総合研究所 水素材料先端科学研究センター

※ カリキュラムは、変更になる場合があります。